



プレスリリース

2025 年 12 月 3 日

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

本プレスリリースは、現地時間 2025 年 12 月 2 日に米国ラスベガスで発表された[プレスリリース](#)の抄訳版です。

AWS、ソニーのエンタープライズ AI 基盤と、エンゲージメントプラットフォームを支援

ソニー、Amazon Bedrock AgentCore を活用し、エンタープライズグレードのセキュリティを確保しながら
グローバル全社で AI エージェント機能を展開

ラスベガス — 2025 年 12 月 2 日 — Amazon.com, Inc. (NASDAQ: AMZN) の関連会社である Amazon Web Services, Inc. (AWS) は本日、米国ラスベガスで開催中の年次グローバルカンファレンス「[AWS re:Invent](#)」(12 月 1 日～5 日)において、ソニーグループ株式会社(以下、ソニー)が、AWS の包括的な AI のエンタープライズ用途における活用を加速し、ファンとクリエイター間のより深いつながりとエンゲージメントの創出に向けて、ソニーのエンゲージメントプラットフォームを構築していることを発表しました。このパートナーシップにより、ソニーはエレクトロニクス、ゲーム、音楽、映画、アニメを含む同社の多様な事業ポートフォリオをまたぎ、「感動」を届けていきます。

すべての事業分野におけるイノベーションを加速

創業以来、ソニーは革新的な製品やサービスを通じて画期的なエンターテインメント体験を先駆けて提供し、お客様に一貫して「感動」を届けてきました。現在、ソニーは AWS の包括的なサービスを活用し、世界中の社員がイノベーションをより迅速に、業務をより効率的に進められるよう支援するとともに、その事業すべてにまたがるファンとクリエイター間のより深いつながりとエンゲージメントを創出しようとしています。

安全な AI と AI エージェント技術で、社員をエンパワーメント

ソニーの社内エンタープライズ AI 基盤は、グループ全社の社員に生成 AI と AI エージェントサービスへのアクセスを提供します。AWS の AI エージェント構築・運用基盤である [Amazon Bedrock AgentCore](#) を活用することで、ソニーはグループ全体で AI エージェントをシームレスに構築、展開、管理することが可能となります。また、エンタープライズグレードのセキュリティ、可観測性、拡張性をグループ全社に実現します。社内エンタープライズ AI 基盤では現在、1 日あたり 15 万件の推論リクエストを処理し、社員のコンテンツ作成、問い合わせ対応、予測、不正検出、ブレインストーミング、新しいアイデアの起案などを支援しています。この推論リクエストの規模は、今後数年で 300 倍以上に成長する見込みです。

ソニーはまた、多様な事業と業務推進に向けた最先端の AI を構築するため、Amazon Nova Forge プログラムを活用しています。初期の検証結果によれば、Nova Forge プログラムを通じて開発された AI モデルの最も有望な活用事例の一つである AI エージェントの性能強化により、社内のドキュメント評価・審査プロセスの効率が従来比で約 100 倍に向上する可能性が示されました。



AWS を活用し、魅力的なファン体験とサービスの業務効率向上を実現

ソニーのエンゲージメントプラットフォームは、ソニーの事業戦略の中核を担っています。このプラットフォームでは以下の要素が統合される予定です。

Sony Data Ocean: この包括的なデータ利活用基盤は、ソニーグループ各社が保有する 500 種類以上のデータセットを連携し、760 テラバイトに及ぶデータ処理を行っています。[Amazon SageMaker](#) を含む AWS サービスを利用して構築した Sony Data Ocean は、AI を活用したインサイトにより、同じ関心を持つファン同士をつなぎ、そのトレンドに関する貴重なインサイトをクリエイターにフィードバックします。

ソニーのエンゲージメントプラットフォーム: 同プラットフォームでは、AWS を活用して世界中のゲームプレイヤーをつなぐ、ソニー・インタラクティブエンタテインメントによる「PlayStation」のオンラインサービスのコア機能を活用します。アカウント、決済、データ基盤、セキュリティなど「PlayStation」のインフラのコア機能を拡張することで、ビジネスオペレーションとファン体験を最適化します。ソニーは、多様なエンターテインメントジャンルとサービスを通じて、ファンとクリエイターの深いつながりを創出するプラットフォーム構築を目指しています。

ソニーグループ 執行役 CDO 小寺 剛氏は次のように述べています。「テクノロジーの進化とともに、エンターテインメントの可能性も広がっています。AWS との長年のパートナーシップを通じて、私たちは今、データと AI の力を最大限に活用して、ファンとクリエイターの間に新たな絆を築くことができるようになりました。この取り組みは、『クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす』という私たちの Purpose を体現し、エンターテインメント産業の未来を形作る重要な一歩です」

Amazon Web Services CEO Matt Garman(マット・ガーマン)は、次のように述べています。「ソニーはデータと AI を駆使して同社の事業を再発明しています。両社のパートナーシップは、ゲーム体験を支える基盤提供から進化し、現在ではソニーが『感動』をかつてないスケールで提供していく取組を支えています。5 万 7 千人の社員の皆様が今後もケイパビリティを深化・拡張し続ける AI エージェントを活用する動きは、まさにエンタープライズ AI による事業変革の実践です」

ソニーグループ株式会社について

ソニーグループ株式会社は、テクノロジーに裏打ちされたクリエイティブエンタテインメントカンパニーです。ゲーム＆ネットワークサービス、音楽、映画、エンターテインメント・テクノロジー＆サービス、イメージング＆センシング・ソリューションなどの事業を展開し、「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」ことを Purpose(存在意義)としています。

<http://www.sony.com/ja>



AWSについて

アマゾン ウェブサービス(AWS)は、お客様を起点に考え、イノベーションの速度、オペレーションナルエクセレンス、そして長期的視点を行動規範としています。20 年近くにわたり、AWS はあらゆる規模・業界の組織がクラウドコンピューティングと生成 AI を活用できるよう、テクノロジーを民主化してきました。その結果、史上最も急成長しているエンタープライズ向けテクノロジービジネスを築いてきました。現在、数百万に及ぶお客様が AWS を信頼し、イノベーションの加速、ビジネスの変革を通じて、未来を形成しています。最も包括的な AI ケイパビリティとグローバルなインフラストラクチャを備えた AWS は、ビルダーが大きなアイデアを実現できるよう支援しています。詳細ならびに最新情報については、以下をご覧ください。

<https://aws.amazon.com/jp/>

[@AWSNewsroom](#)

報道関係からのお問い合わせ先

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社広報部 awsjp-pr@amazon.com

広報代理店 株式会社プラップジャパン

担当： 中田 (070-7523-6980)、中根(080-6859-3639)

Email: aws_pr@prap.co.jp